JR東海労なごや

2011年9月30日 No 869 JR 東海労名古屋地方本部 発行者: 山 田 哲 也

編集者: 堀 部 肇

異常なのは季候だけじゃない

クールビズシリーズ 5

猛暑の夏にノーネクタイを認めない会社、 組合員の声に耳を傾けない東海ユニオン、全てが異常!!

猛暑の中での仕事、本当にお疲れさまでした。

毎年猛暑といわれていますが、東日本大震災による

原発事故が発生し、電力不足による省エネが叫ばれま

した。企業や家庭では冷房の設定温度を上げたり電灯

のスイッチを切るなど節電に努めました。多くの会社で

は暑さ対策としてクールビズを取り入れノーネクタイや

軽装で仕事をすることを認めてきました。一方JR東海は

かたくなにノーネクタイを認めません。

私たちは、この間「申」や情報で夏場のノーネクタイに

ついて会社に訴えてきました。

会社は全く現場で働く社員のことなど関係なく、イメージだとか服務規程に従え、など合理的な答えは何ーつありません。

各鉄道会社や、サービス業にいたるまでノーネクタイでクールビズ

原発事故による省電力のみでなく地球温暖化・CO2問題など行政も他企業もクールビズには積極的です。 私たちはこのような現実をふまえ粘り強く交渉を今後も続けます。それにしても最大組合のユニオンからは ノーネクタイ化について声が聞こえてきません。なぜ組合員の要求に応えないのでしょう。まさに会社同様 異常です。

ノーネクタイを実現するには、東海労しかない

要求を実現するため東海労に結集しよう!